


令和5年度ニューファーマー育成研修内容(案)

1 カリキュラム

月	1年目	2年目
	公社研修を中心にJA営農センターの各部署と事前協議し年間計画を立て、農協業務を短期体験する。外部研修を受講。研修日程の調整は公社担当者が行う。	公社研修を中心に先進農家研修を組み合わせカリキュラムを作成。外部研修を受講。研修日程の調整は公社担当者が行う。
1～3月	・面接実施（営農センター担当者も同席） ・経営者と研修生から研修内容の要望を聞き、年間カリキュラムを作成	・経営者と研修生から研修内容の要望を聞き、年間カリキュラムを作成
4月	・開講式、オリエンテーション	 ① 公社圃場で栽培基礎技術を学ぶ ② 就農地の先進農家で実践的に学ぶ ③ 外部研修を受講する （農業大学校、フラワーテクニカ等） ④ 経営を理解するために在宅研修を実施 ・研修成果発表
5月		
6月	① 公社圃場で栽培基礎技術を学ぶ	
7月	② 農協職務研修（各部署5～10日程度） 各部署と連携して農協業務を短期体験	
8月	③ 大特免許を取得する	
9月	④ 外部研修を受講する （農業大学校、花野菜技術センター等）	
10月	⑤ 経営を理解するために在宅研修を実施	
11月	・研修成果発表	
12月		
1月		
2月		
3月		・研修修了式

2 各研修の概要

研修名	研修内容
① 公社ほ場研修	・専任の技術指導員の指導を受けながら、作物栽培の基礎を学ぶ。
② 農協職務研修	・資材店舗、農産物集出荷施設、営農振興課、農産課等で実務に携わり、農協の業務を理解する。（5～10日程度）
③ 先進農家研修	・就農地の先進農家で栽培技術や農業経営を実践的に学ぶ。
④ 外部研修	・道立農業大学校、花・野菜技術センター、JAカレッジ、酪農大学等の短期研修を受講する。
⑤ 在宅研修	・農業経営で重要な時期については短期間（1週間以内）自宅の農作業を手伝う。 ・2年目の1～3月は、自宅で就農準備（経営改善計画の作成、育苗等）をする。